

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-110	A-169	23-074	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳）			
Estimating the Effects of Hypothetical Alcohol Minimum Unit Pricing Policies on Alcohol Use and Deaths: A State Example 仮説的なアルコール最低単位価格政策が飲酒と死亡に及ぼす効果の推定：州の例			
執筆者			
Bertin L, Leung G, Bohm MK, LeClercq J, Skillen EL, Esser MB.			
掲載誌			
J Stud Alcohol Drugs. 2024 Jan;85(1):120-132. doi: 10.15288/jsad.22-00274.			
キーワード			PMID
アルコール最低価格、蒸留酒、アルコールに起因する死亡			38252451
要 旨			
<p>目的：アルコール最低単位価格（MUP）政策は、これ以下ではアルコールが販売できない下限価格を設定するものである。米国におけるアルコールが起因する死亡を減少させるための MUP 政策の潜在的効果は定量的に評価されていない。そこで、2つの仮説的な蒸留酒 MUP 政策が、ある州のアルコール販売、消費、アルコールが起因する死亡に及ぼす影響を検討した。</p> <p>方法：アルコールの害と政策に関する国際モデルツールを用いて、2020年にミシガン州の持ち帰り用アルコール販売店で蒸留酒製品に適用される標準飲料一杯あたりの MUP 政策（40セントと45セント）の効果を推定した。ミシガン州成人の飲酒パターンに関する有病率推定値を性・年齢層別に算出した。9,747種類の蒸留酒製品の標準的な一杯あたりの価格と売上は、全米アルコール飲料管理協会のデータを用いて分析した。交差価格弾力性を用いて他のアルコール飲料タイプの売上を分析した。</p> <p>結果：ミシガン州における2020年1年間の飲酒率は、男性72.0%、女性70.6%で年齢とともに減少した。標準的な飲料1本当たりの価格が最も低い蒸留酒3.5%（345種類）のMUPを40セントに引き上げると、ミシガン州における1人当たりの総アルコール消費量を2.6%減らし、年間232人（5.3%）のアルコールが起因する死亡を防ぐことができる。45セントのMUPは8.0%（776種類）の蒸留酒に影響し、一人当たりの総アルコール消費量を3.9%減らし、354人（8.1%）の死亡を防ぐことが推定された。</p> <p>結論：1つの州でMUP政策によって最安値の蒸留酒価格を緩やかに引き上げれば、年間数百人の命を救うことが可能である。アルコール販売、飲酒、死亡を減らすためのMUP政策の潜在的な有効性を示し、世界保健機関の勧告に合致した米国公衆衛生を改善する効果的な戦略となりうることを示唆している。</p>			